



あひるぐみだより



社会法人尚徳福社会 生麦保育園

平成30年2月号 発行

寒さが厳しい季節ですが、子どもたちは戸外で元気に遊んでいます。テラスでは友だちと走ったり、三輪車に乗ったりして楽しく過ごしています。まだまだあひる組の子どもたちは体を動かしたい様子です。これからも戸外遊びをたくさん取り入れていきたいと思います。



* 鬼の制作 *

節分の制作で、鬼の顔をした帽子を作りました。初めは、何ができるのだろうと興味津々！目や口はクレヨンで塗り、白目の部分はシールを貼りました。また、両面テープが貼ってある眉、鼻、キバのパーツは、指先を使い上手に剥がしていました。鬼の顔が出来上がると、「鬼だぁ！」と嬉しそうな声。節分の日を楽しみにしている子どもたちです。



* 食事 *

進級に向けて給食時間の準備を始めました。1月上旬は時間が遅くなったため生活リズムが崩れてしまい、給食時間前に眠くなってしまいうちも、下旬頃になると少しずつですが時間に慣れてきた様子です。また、給食時は高月齢の子はフォーク、低月齢の子は大きいスプーンと月齢に合った食具を使っています。初めてのフォークを使うと、子どもたちは嬉しそうに「フォークだよ」と保育士に伝えていました。フォークで食べ物を器用にすくう子やフォークとスプーンを使い分ける子など子どもたちなりに工夫しています。今後も危なくないよう見守り、フォークの使い方を丁寧に伝えていきたいと思います。



* 言語 *

友だちや保育士と会話を楽しみ、笑い合っている姿が見られます。最近では、身の回りの物に興味を示し、「これなに？」と聞いたり保育士の真似をしたりして言葉の獲得をしています。友だちのもっている玩具に興味があり、以前は手を出してしまうこともありましたが、今では自分の気持ちを頑張って伝えようとする姿や玩具を貸して欲しい時は、「かして」と伝える姿が見られるようになり、トラブルが減ってきました。また、季節ならではの鬼の歌やお餅の歌など上手に歌っています。



* 遊び *

園庭遊びが大好き!!園庭に降りると、倉庫から縄跳び、フープ、ボールなど好きな玩具を出しています。縄跳びを蛇のように動かす姿や保育士の真似をしてフープを回したり跳ぼうとしたりする姿も見られます。砂場では、テーブルと椅子を出してレストランごっこ遊びを楽しんでいます。コップに砂を入れ、それを上手にひっくり返せるようにもなりました。そんな様子にも成長を感じます。

